

# 宿根カスミソウの据置株の開花促進に有効な電照期間

福島県農業総合センター 会津地域研究所

## 1 部門名

花き—カスミソウ—環境調節、作型・栽培型

## 2 担当者

大竹真紀・星佳織・堀越紀夫

## 3 要旨

宿根カスミソウの据置株は6～7月に開花期が集中するため、電照による開花調節は有効な手段である。しかし、長期間の電照では草丈が伸びすぎて品質低下を招くことが懸念される。「べールスター」と「アルタイルMD」では、LED電球を使用した電照処理は切り戻しから採花終了まで行うのが最も開花促進効果が高いが、芽整理時から4週間の電照でも開花が前進し、草丈の伸びが抑制された。

- (1) 据置株では、花芽分化期から電照を開始しても開花促進効果が得られなかった(図1)。
- (2) 芽整理時に電照を開始すれば、4週間の点灯でも開花が促進された(図2)。
- (3) 電照することで電照なしに比べて草丈が長くなるが、4週間で打ち切ると採花終了までに比べて伸びがやや抑えられた(表1)。

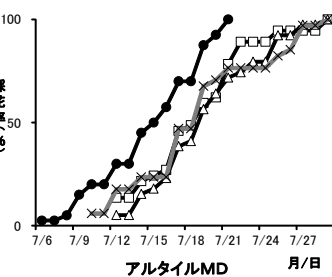
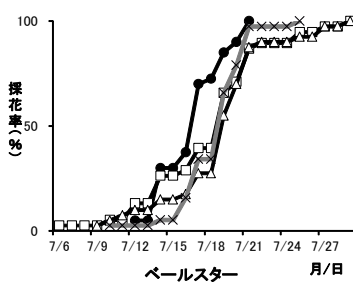


図1 据置株の電照開始時期と採花率の推移(平成27年)

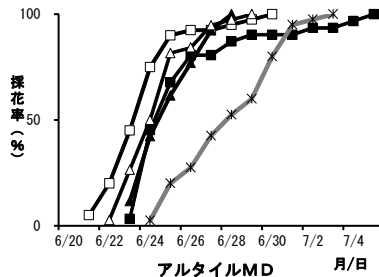
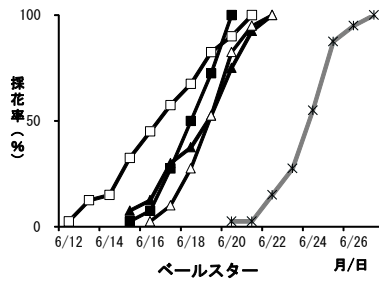


図2 据置株の電照期間の違いと採花率の推移(平成28年)

表1 据置株の電照期間と草丈

品種	電照期間 <sup>1)</sup> (開始～終了)	草丈 (cm)
べールスター	切り戻し～4週間	105 b
	切り戻し～採花終了	109 ab
	芽整理～4週間	105 b
	芽整理～採花終了	112 a
	電照なし	89 c
アルタイルMD	切り戻し～4週間	102 bc
	切り戻し～採花終了	107 a
	芽整理～4週間	104 ab
	芽整理～採花終了	108 a
	電照なし	98 c

主茎4本仕立て。LED電球(一般電球形電球色LDA 8LG7.5W640lm)をベット上145cm高に3m間隔で設置。

\* 同一品種においてTukeyの多重比較法により、異符号間に5%水準で有意差あり。

1) 電照期間の生育ステージと切り戻しからの日数の目安: 芽整理(2週間後)、花芽分化(4週間後)、発蕾期(6週間後)

- 芽整理後    □ 花芽分化期
- ▲ 発蕾期    × 電照なし
- 切り戻し～4週間    □ 切り戻し～採花終了
- ▲ 芽整理～4週間    ▲ 芽整理～採花終了
- × 電照なし

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27年度～28年度
- (2) 研究課題名 会津地域の特色を活かした野菜・花きの高品質安定生産技術の確立  
(シュコンカスミソウの安定生産技術の確立)
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 平成26年度普及成果「宿根カスミソウ品種「べールスター」の6月前半出荷技術」
- (2) 平成25年度参考成果「LED電球は宿根カスミソウの6月切り栽培の開花促進に適合できる」